

資料画像New ! (14) 掲載の大内氏当主発給文書解説

番号	表題	年代	宛	内容	文書群名	翻刻
(1)	大内妙巖(弘幸)書状	(暦応4年[1341])閏4月15日	→氷上寺衆徒	大内妙巖(弘幸)が氏寺の氷上寺(後の興隆寺)が敵方に放火されて焼失したことを嘆き、再興を指示したもの。	興隆寺文書23-3(複写資料181)	山3-312<206>
(2)	大内道階(弘世)寄進状	永和4年[1378]3月18日	→興隆寺大坊	大内道階(弘世)が周防国所々内の田畠を租税免除の地として興隆寺に寄進したもの。	興隆寺文書23-7(複写資料181)	山3-313<210>
(3)	大内義弘自筆書状	(明德3年[1392])正月29日	→氷上別当御房	大内義弘が和泉・紀伊両国を拝領したことや氏神である妙見社を和泉国に勧請したい旨を伝えた自筆の手紙。	興隆寺文書4-1(複写資料178)	山3-236<20>
(4)	大内盛見安堵状	応永9年[1402]4月23日	→氷上別当御房	大内盛見が氷上山領の租税を免除する旨を伝えたもの。	興隆寺文書26-4(複写資料181)	山3-317<218>
(5)	大内持世加冠状	永享9年[1437]12月23日	→仁保太郎	大内持世が仁保太郎の烏帽子親となって弘重という名前を与えたもの。	三浦家文書甲巻8-10(複写資料184)	古14-450<168>
(6)	大内教弘自筆書状	(年未詳)12月8日		大内教弘が病氣療養中の人物を見舞った自筆の手紙。	三浦家文書甲巻8-11(複写資料184)	古14-451<169>
(7)	大内政弘感状	応仁元年[1467]10月10日	→仁保上総介	大内政弘が応仁・文明の乱の上洛戦に従軍した仁保氏の働きを賞したもの	三浦家文書甲巻3-17(複写資料182)	古14-367<63>
(8)	大内政弘書状	(文明元年[1469])12月20日	→仁保上総介	大内政弘が応仁・文明の乱中の摂津国神崎城合戦での仁保氏の働きを賞したもの。	甲巻3-18(複写資料182)	古14-367<64>
(9)	興隆寺修二月会頭役差文	永正18年[1521]2月13日		大内義興が興隆寺修二月会の来年の負担者を定めたもの。頭役は大内氏一門で石見守護代の問田興之。	興隆寺文書5-15(複写資料178)	山3-244<48>
(10)	大内義隆預ヶ状	天文13年[1544]4月16日	→完戸安芸守	大内義隆が安芸国佐東郡阿那村内の土地を宍戸氏に預けたもの。	宍戸家文書巻1-2(複写資料140)	山3-331<2>
(11)	大内義長書状	(天文23年[1554])5月28日	→陶尾張守	大内義長が陶晴賢に対して毛利元就が自分たちの仲を割こうとしているが、疑心はない旨誓約したもの。	山内家文書甲9-217(複写資料145)	古15-179<217>

【翻刻】該当文書の釈文が掲載されている代表的な史料集の略称、巻数―頁数<文書番号>を示した。略称は、山→『山口県史史料編中世』／古→『大日本古文書家わけ』